

令和 7 年度行政評価 《事業評価調書》

事業名			街路樹剪定等事業費			担当		建設部建設事業室公園緑地課		
事業概要		街路樹の適切な剪定や枯損木の補植を行うことで、快適な街路樹の保全をし、安全な車道走行環境や快適な歩行者空間の確保を図る。								
		事業費(A)		概算人工		人件費換算(B)		トータルコスト(A)+(B)		
R6決算		6,600	千円	2.0	人	11,478	千円	18,078	千円	
R7予算		6,600	千円	2.0	人	11,478	千円	18,078	千円	
目標		良好な街並景観を確保するとともに、適切な剪定作業により、枯枝の落下事故等を防止し、快適な市民生活を確保する。								
実績・効果		令和7年度は市内 10 路線の街路樹（主にプラタナス）の剪定を行ったが、補植は実施できていない。								
点検・評価	点検項目	評価				評価の理由等				
	必要性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				安全な車道走行環境や快適な歩行者空間を確保するため。				
	妥当性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				計画的に剪定する必要がある。				
	有効性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				計画的に事業を実施しているが、毎年剪定の必要があるプラタナスの本数が多い。				
	効率性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				電源立地地域対策交付金を活用している。				
評価の結果を踏まえた今後の方向性						継続				
【今後の方向性の説明】 街路樹の枝の落下は、車両や通行人に被害を与える可能性があるため、継続的に適切な剪定を実施していく。										

事業名		担当					
事業概要							
事業費(A)		概算人工		人件費換算(B)		トータルコスト(A)+(B)	
R6決算	千円	人	千円	0	千円		
R7予算	千円	人	千円	0	千円		
目標							
実績・効果							
点検・評価	点検項目	評価		評価の理由等			
	必要性	☐ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い					
	妥当性	☐ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い					
	有効性	☐ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い					
	効率性	☐ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い					
評価の結果を踏まえた今後の方向性							
【今後の方向性の説明】							

令和7年度行政評価《事業評価調書》

事業名 都市公園安全・安心事業費				担当 建設部建設事業室公園緑地課					
事業概要		「小樽市公園施設長寿命化計画」に基づき、老朽化した公園遊具等の更新を行うもの。							
		事業費(A)		概算人工		人件費換算(B)		トータルコスト(A)+(B)	
R6決算		29,593	千円	2.0	人	11,478	千円	41,071	千円
R7予算		114,800	千円	2.0	人	11,478	千円	126,278	千円
目標		老朽化した公園施設の更新を行い、利用者が安全かつ安心して公園を利用することができる環境を整える。							
実績・効果		令和6年度は、ほしの丘の上公園（遊具5基）、らいらく公園（遊具3基）、ベイビュータウン中央公園（遊具3基）の更新を行ったことで、利用者が安全かつ安心して利用できるとともに利用増進が図られ、魅力ある公園づくりにつながった。							
点検・評価	点検項目	評価				評価の理由等			
	必要性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				市長公約に関連する事業である。			
	妥当性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				「小樽市公園施設長寿命化計画」に基づき、老朽化した公園遊具等の更新を行っている。			
	有効性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				対象公園の関係者（町会や小学校等）にアンケートを行い、更新後の遊具を選定している。			
	効率性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				社会資本整備総合交付金を活用し、事業を行っている。			
評価の結果を踏まえた今後の方向性						継続			
【今後の方向性の説明】									
今後も公園利用者が安全かつ安心して利用できるよう老朽化した公園遊具の更新を進めていく。									

総合公園再整備事業費（小樽公園）				担当 建設部建設事業室公園緑地課					
事業概要		小樽公園の遊具広場の大規模更新を行う。							
		事業費(A)		概算人工		人件費換算(B)		トータルコスト(A)+(B)	
R6決算		19,914	千円	3.0	人	17,217	千円	37,131	千円
R7予算		2,750	千円	3.0	人	17,217	千円	19,967	千円
目標		人口減少対策の一環として、公園、遊び場の整備は子育て世代の定住や移住促進に有効な施策であるため、多くの市民が利用し、遊ぶことのできる公園として総合公園（小樽公園）を整備する。							
実績・効果		令和6年度は、小樽公園再整備詳細設計業務を発注した。令和8年度から着手予定の小樽公園の遊具広場を大規模にリニューアルすることにより、遊び場の充実を求める市民や子育て世代からの要望に応えることが可能であり、市中心部に親子連れで遊べる広場ができることにより、中心市街地のにぎわい創出や魅力づくりにつながる。							
点検・評価	点検項目	評価				評価の理由等			
	必要性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				市長公約に関連する事業である。			
	妥当性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				小学校低学年以下のお子さんがある世帯（市内在住）の小樽公園遊具広場の利用割合の向上を目標に設定している。			
	有効性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				再整備の計画について、小学生やその保護者を対象に2回のアンケートやワークショップを行い、整備内容に反映している。			
	効率性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				R7年度は社会資本整備総合交付金を活用しており、R8年度からは、国庫補助「都市構造再編集集中支援事業」や企業版ふるさと納税を活用し、事業を行う予定である。			
評価の結果を踏まえた今後の方向性						継続			
【今後の方向性の説明】 令和8年度からは国庫補助を活用し、本格的に工事に着手する予定であり、引き続き目標の達成に向け事業を進めていく。									

令和7年度行政評価《事業評価調書》

事業名 市内各公園維持補修費			担当 建設部建設事業室公園緑地課							
事業概要		市民が公園等を安心・安全で快適に利用できる環境を確保するため老朽化や破損した既存施設の補修や修繕等を実施するもの。								
		事業費(A)		概算人工		人件費換算(B)		トータルコスト(A)+(B)		
R6決算		60,583	千円	2.0	人	11,478	千円	72,061	千円	
R7予算		56,271	千円	2.0	人	11,478	千円	67,749	千円	
目標		公園施設の補修や修繕等を進捗させ、市民が安全・安心で快適に利用できる環境に改善することで、生活満足度を高める。								
実績・効果		令和7年度の主な維持・補修実績は次のとおり。 遊具等修繕・工事：9件（園内灯修繕、バスケットコート修繕、テーブルベンチ設置、舗装補修等） 公園除草：市内20公園等（54,600㎡） 年間維持管理：市内7公園等 遊具等点検：市内95公園等								
点検・評価	点検項目	評価				評価の理由等				
	必要性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				公園等を安心・安全で快適に利用できる環境を確保するため。				
	妥当性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				老朽化、破損した施設の改善を図るため、毎年の遊具等点検結果に基づいて修繕を行い、安全で快適な利用環境を確保する必要がある。				
	有効性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				効率的に事業を実施しているが、老朽化等で修繕が必要な施設が多い。				
	効率性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				森林環境整備事業資金を活用している。				
評価の結果を踏まえた今後の方向性						継続				
【今後の方向性の説明】 市民が公園等を安心・安全で快適に利用できる環境を確保するため、老朽化や破損した既存施設の補修や修繕を行っていく。										

事業名 施設維持補修費			担当 産業港湾部港湾室港湾整備課							
事業概要		港湾活動の利便性や安全性を確保していくために、機能低下施設の早期改善・補修等を早急に行うものである。								
		事業費(A)		概算人工		人件費換算(B)		トータルコスト(A)+(B)		
R6決算		4,895	千円	2.0	人	11,478	千円	16,373	千円	
R7予算		5,000	千円	2.0	人	11,478	千円	16,478	千円	
目標		港湾活動の利便性や安全性を確保するために必要な港湾施設の維持補修を継続する。								
実績・効果		臨港地区内緑地管理業務について、臨港道路、緑地（公園等）の除草、樹木剪定等を行い、臨港地区の良好な港湾環境及び景観を維持できている。								
点検・評価	点検項目	評価				評価の理由等				
	必要性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				・廃止すると、街路樹の倒木等による被害が起こり得る。 ・除草を行わなければ景観を損ねるおそれがある。				
	妥当性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				・適切な業務設計を行い、その達成のための実施体制が整っている。				
	有効性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				・港湾施設の維持や安全に寄与できている。				
	効率性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				・経営資源の有効活用ができている。				
評価の結果を踏まえた今後の方向性						継続				
【今後の方向性の説明】										
小樽港は1899年(明治32年)の開港から、120年以上が経過し多くの港湾施設が老朽化している中、現状の維持管理は予算・人員の削減により補修等が滞っている。今後も引き続き港湾施設の維持・補修を行っていくもの。										

令和7年度行政評価《事業評価調書》

事業名 オープン花壇活動に対する報奨金			担当 建設部建設事業室公園緑地課					
事業概要		入船公園、平磯公園、銭函中央公園、花園グリーンロード 及び 旧国鉄手宮線の花壇を管理している緑化活動団体に対して、報奨金を支給する。						
	事業費(A)		概算人工		人件費換算(B)		トータルコスト(A)+(B)	
R6決算	90	千円	0.1	人	574	千円	664	千円
R7予算	90	千円	0.1	人	574	千円	664	千円
目標		緑化活動団体に対して報奨金を支払うことにより、公園、緑地等の修景向上の推進を図り、快適な都市環境を創出する。						
実績・効果		R5～7年度 全 5 公園の内、3 公園（銭函中央公園、花園グリーンロード、旧国鉄手宮線）の緑化活動を行った団体に対し、報奨金を支給した。 快適な都市環境を創出する活動団体の経済的負担軽減に寄与した。						
点検・評価	点検項目		評価		評価の理由等			
	必要性		☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い		事業を廃止すると、報奨金以上の花壇の管理費用を市が負担することになる可能性がある。			
	妥当性		☐ 高い ☐ どちらかという和高い ☒ どちらかという和低い ☐ 低い		活動団体の高齢化や新規団体の確保に苦慮している。			
	有効性		☐ 高い ☐ どちらかという和高い ☒ どちらかという和低い ☐ 低い		5公園を対象としているが、活動実績は3公園のみである。			
	効率性		☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い		報奨金以上の活動を団体側が行っている。			
評価の結果を踏まえた今後の方向性					拡大			
【今後の方向性の説明】 関係団体に聞き取りを行った各団体の要望としては、報奨金の増額を希望しているため、市としても今後も活動を継続してもらいたいと考えていることから、報奨金の増額を検討していく。								

事業名 フラワーストリート事業				担当 生活環境部生活安全課					
事業概要		「快適な環境づくり実践促進連絡会議」の活動として、きれいで快適なまちづくりの効果的な推進のため、同会議の構成団体である町会や各種団体、企業などの参加を得て市道浅草線沿いの街路マスに花を植える活動を行う。							
		事業費(A)		概算人工		人件費換算(B)		トータルコスト(A)+(B)	
R6決算		128	千円	0.02	人	115	千円	243	千円
R7予算		129	千円	0.02	人	115	千円	244	千円
目標		市民、観光客が多く訪れる市道浅草線沿線に花を植えることにより、きれいで快適なまちづくりの効果的な推進に寄与する。							
実績・効果		R5～7年度 6月に土起こし・花植えの事業を実施しそれぞれ約40名が参加。 6～11月の間、街路マスに植えた1000株のペチュニアにより観光客や市民の目を楽しませ、きれいで快適なまちづくりの効果的な推進に寄与した。							
点検・評価	点検項目	評価				評価の理由等			
	必要性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				・市民や観光客の目に触れる機会が多く、きれいで快適なまちづくりの効果的な推進のために必要である。			
	妥当性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				・市民や観光客の目に触れる機会が多く、きれいで快適なまちづくりの効果的な推進のために妥当な事業内容である。			
	有効性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				・期待した効果が表れている。			
	効率性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				・費用対効果が高い。			
評価の結果を踏まえた今後の方向性						継続			
【今後の方向性の説明】 多くの市民や観光客が訪れる場所に花を植えることで、きれいで快適なまちづくりが効果的に推進されてることから、今後も事業を継続する。									

令和 7 年度行政評価 《事業評価調書》

事業名	花と緑のまちづくり事業助成金		担当	建設部建設事業室公園緑地課				
事業概要	町内会等が花などの植栽を主としたまちづくりを行う際に事業費の1/2以内で助成を行う。							
	事業費(A)		概算人工		人件費換算(B)		トータルコスト(A)+(B)	
R6決算	72	千円	0.1	人	574	千円	646	千円
R7予算	100	千円	0.1	人	574	千円	674	千円
目標	快適な都市環境を創出するため、市民と行政が協働で花と緑の街並み整備を進める。							
実績・効果	令和 4 年度：2件（助成金56千円） 令和 5 年度：0件 令和 6 年度：1件（助成金72千円） 活動団体の経済的負担軽減に寄与した。							
点検・評価	点検項目	評価		評価の理由等				
	必要性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い		事業を廃止すると、都市環境を創出する団体の経済的負担を軽減することが出来なくなる。				
	妥当性	☐ 高い ☐ どちらかという和高い ☒ どちらかという和低い ☐ 低い		相手方の申請を待つ形なので、必ず当該制度を利用する団体があるとは限らない。				
	有効性	☐ 高い ☐ どちらかという和高い ☒ どちらかという和低い ☐ 低い		近年、利用実績が無い年度もあった。				
	効率性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い		事業費の1/2以内での助成であるため、申請者側の資金も活用しており、効率的である。				
評価の結果を踏まえた今後の方向性				継続				
【今後の方向性の説明】 今後も目標を実現するため、活動団体への効果的な周知方法等を検討し、引き続き事業を実施していく。								

事業名			担当					
事業概要								
	事業費(A)		概算人工		人件費換算(B)		トータルコスト(A)+(B)	
R6決算		千円		人		千円	0	千円
R7予算		千円		人		千円	0	千円
目標								
実績・効果								
点検・評価	点検項目	評価		評価の理由等				
	必要性	☐ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い						
	妥当性	☐ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い						
	有効性	☐ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い						
	効率性	☐ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い						
評価の結果を踏まえた今後の方向性								
【今後の方向性の説明】								